

(様式 1-3)

山武市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	津波避難誘導灯等整備事業	事業番号	◆D-20-2-1
交付団体	山武市	事業実施主体 (直接/間接)	山武市 (直接)		
総交付対象事業費	6,227 (千円)	全体事業費	6,227 (千円)		
事業概要					
<p>津波避難タワーを有効に活用するために必要な整備を行い、津波からの緊急避難体制を強化することにより、近隣住民の安全確保を図る。</p> <p>○ソーラータイプ誘導灯及び避難誘導看板の設置</p> <p>現在、津波避難タワーまでの避難経路上には段差や水路等があるうえ、大規模災害発生時には停電が予想される。明かりが全くない状況の中で、大勢の近隣住民を迅速かつ安全に避難させるため、ソーラータイプの外灯及び避難誘導看板の整備を行い、夜間避難時における安全確保を図る。</p> <p>なお、設置場所としては津波避難時の避難経路入口になる県道付近及び経路途中の交差点付近の 2 ヲ所を予定する。</p> <ul style="list-style-type: none">・避難誘導灯及び避難誘導看板の設置 (2 箇所) <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>○津波避難誘導灯等整備事業 : 6,227 千円</p> <p><平成 27 年度> 津波避難誘導灯等整備工事 5,433 千円</p> <p>津波避難誘導灯等整備工事実施設計業務委託 497 千円</p> <p>津波避難誘導灯等整備工事監理業務委託 297 千円</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>海岸線から直線距離で約 8km に渡って平野部が広がる本市では、今回の東日本大震災において多くの津波被害が発生した。発災直後の大津波警報発令により市長が避難指示を発令。海岸地域の 11 箇所の避難所には 2,000 人を超える市民が避難した。</p> <p>海岸からの距離で 700m、海拔も 2m 足らずの位置にある身体障害者療養施設光洋苑 (90 床) 並びに特別養護老人ホーム青松苑 (80 床) は、津波の襲来により床上浸水等の甚大な被害を被った。幸いにも午後 2 時 46 分の発災時には当該施設では、100 名程の日勤職員がおり、入所者を通勤用自家用車に分乗させる等の搬送活動を行った結果、午後 4 時には 170 名全員を無事に高台の成東東中学校に避難搬送させることが可能であった。その 30 分後には津波が到達しており、かろうじて大惨事を免れたところである。しかしながら夜間の場合は、職員は配置基準の 9 名 (多くは女性) と非常に手薄な状態になり、重篤な入所者の介助も考</p>					

慮すると甚大な被害が想定される。なお東北地方では同様の施設において、多数の犠牲者を出している。

また、本施設周辺の木戸浜地区は津波の遡上による木戸川の越流もあり、市内で最も被害が甚大な地域であった。多くの住宅等において、床上浸水等の被害を受けており、自動車による避難が困難な住民を津波避難タワーに誘導することで、施設入所者と伴に近隣住民の安全を確保するものである。

※区域の被害状況の概要

- 建物被害棟数が1,201棟（全壊48棟、大規模半壊182棟、半壊377棟、床下浸水275棟、その他319棟）
- 浸水面積9.4k㎡（千葉県内で最大規模）、最大陸地到達距離は2,960m（松尾町折戸地先）
- 震災当時の避難所は13箇所を開設、累計避難者数3,995人（内福祉避難所246人）最大避難者数2,149人（3月11日20:00現在）
- 市が実施した被災者アンケートでは、災害時に特に危険と思われることとして「海岸線の後背地が平坦であること」607人（65.3%）、「安全な避難場所が少ないこと」287人（30.9%）という結果が出ている。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	D-20-2
事業名	津波避難施設整備事業
交付団体	山武市

基幹事業との関連性

○津波避難誘導看板の設置

・津波避難タワーに向かう県道からの進入口付近及び避難経路途中の交差点に避難誘導看板を設置することで、一時避難場所としての効果を発揮するよう地域住民への周知徹底を図る。

○ソーラータイプ誘導灯の設置

・現在、県道からの避難経路には防犯灯が整備されているが、停電時には使用できなくなるため、夜間は明かりが全くない状態となる。については、ソーラータイプ誘導灯を新設することにより、津波避難タワーへの夜間避難時における安全性を確保する。